

大地の ヒミツカード

「火山ジュニアマイスター」
地域を学ぶ調査隊が厳選スポットを紹介！

SECRETS CARD OF THE EARTH
公益財団法人 雲仙岳災害記念財団

TAKE
FREE

原城の玄関口 大手口 #001



平らな地形をもつ二ノ丸 #002



本丸の地下に隠されたトミツ #003



阿蘇火山の大規模火砕流の地層 #004

【大地のヒミツカード】

これは地域を学ぶ火山ジュニアマイスターの子どもたちが原城の歴史や成り立ちを紹介するカードです。

【カードの作り方】

- ☆A4厚紙で両面印刷してください
- ☆点線を切ってカードにしてください
- ☆左上に丸穴をあけてください
- ☆カードをリングに通してお使いください



なかむらわか

中村 和花

雲仙岳火山ジュニアマイスター



#001

おおてぐち しゅうい たか がけ
大手口は周囲が高い崖になっています。この崖は断層で地面がずれてできました。一揆軍はこの崖を活用して城の防御にしました。崖がほりこまれた地層からは湧き水がしみ出しています。このような湧き水を一揆軍は飲み水にしました。



大手口(おおてぐち)

大手口は日野江城を向いているため、日野江口とも呼ばれています。現在の旧道より海側はもとは海で、船をつけて出入りしていたと考えられています。

断層がつくった崖を利用した
城の防御

しまばら あまくさ いっ き ぶ たい
「島原・天草一揆」と舞台となった原城

1637~1638年、島原と天草地方の人々が宗教の自由と厳しい年貢からの解放をねがって一揆(農民の反乱)をおこしました。天草四郎をリーダーとして、2万数千人の人々が原城にたてこもり、幕府軍と4ヶ月間戦いました。幕府はおよそ12万の大軍を送ってようやく鎮圧しました。



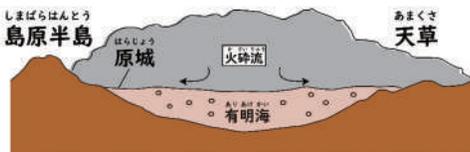
しらくら そう た
白倉 蒼大

雲仙岳火山ジュニアマイスター



#002

にのまる たい ちけい
二ノ丸は平らな地形でできています。約9万年前に阿蘇山の大噴火によって火砕流が流れてきて谷やくぼ地をうめ立てました。この平らな場所があることで、多くの一揆軍がたてこもるスペースができました。阿蘇山から原城まではおよそ80kmも離れています。阿蘇山の噴火がすごかった事がわかります。



二ノ丸(にのまる)

この周辺ではかまど跡が発見され、一揆軍の食事や鉄砲玉を溶かして鉛の十字架を作る際になどに使われていたと考えられています。

火砕流がつくった台地
二ノ丸



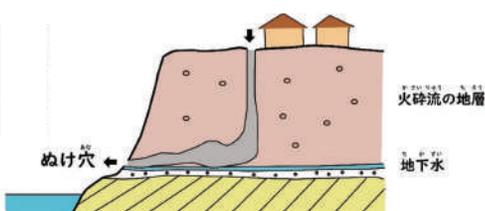
そのだ ゆう な
苑田 侑奈

雲仙岳火山ジュニアマイスター



#003

ほんまる した うみ つながる 抜け穴
本丸の下には海につながる抜け穴がありました。原城の下は軽石や火山灰がつもっていてやわらかい土でできています。抜け穴は大人がやっと通れるくらいの大きさで、途中から横に向きを変えて海に出るつくりでした。



原城VR 抜け穴(ぬけあな)

抜け穴は、畳3枚くらいの広さの場所もあり、刀のかけらや鉄砲玉、十字架などが見つかっています。地下水もわきでていて天草四郎も隠れていたかもしれません。

原城本丸に見つかった
抜け穴?



たけだ れ な
竹田 玲那

雲仙岳火山ジュニアマイスター



#004

ほんまる の たい ち せき が た く さ ん 含まれてい
原城の土台の地層には軽石がたくさん含まれています。これらは阿蘇山の大噴火で火砕流によって流れてきました。軽石は、出てきたマグマが急に冷やされてできました。手に取ると、スポンジみたいな小さな穴があり、水に浮くように軽いです。



阿蘇火山の地層(あそかざんのちそう)

原城の土台の上半分は、約9万年前の阿蘇火山のカルデラ(くぼんだ地形)を生じさせた巨大噴火(大規模火砕流)の堆積物でできています。

原城の土台をつくる
火砕流の地層